

## 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2026年3月5日

事業所名：児童発達支援 つばめ療育館 しばた分館

対象人数（保護者）40人 回答者数 31人 回収 77.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	27	3	1		既存の建物を利用している為、活動スペースに 限界があると思います。他の施設の活動ス ペース(個別、運動)は、どんな感じなんだろう？と 気になります。 また、個別(マッサージ、机上課題)での活動時 は、広すぎて...と思うので、マッサージがで きて、机上課題が可能であればいいのかな、と 思う事もあります。	個別親子療育が可能となる室内環境に改修しま した。 より改善効果が望める支援スペースになった か、更に検証を重ねて参ります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	1		1	利用日によって、対応する先生が、マッサー ジ・運動・机上課題を一人の方がされる日も あれば、お二人の日もあります。 配置数は適切だと思いますが、子の対応をする 先生方の様子をみている感じ、お一人の対応よ りはお二人の方がいいのかな...と思う事あり ます。 それは、先生方に疲れが見えて、対応が荒く感 じる時があり、とてもいい先生方なのに、勿体 ないと思ってしまう場面があるからです。 子は、ADHDで、動きが多く速いです。関係を 築く事を大切にしてくださっているので、先生 方も人間で波はあるかもしれませんが、利用し ている間は【プロ】でいてもらえると有り難い な、と思います。	一提供時間帯で3名の個別親子療育を提供して います。職員は5名で、適切な配置となってい ます。 職員のスキルアップは永遠の課題です。職員間 での研修や町村発達支援コンサルタントが主催 する専門研修の受講等で計画的なスキルアップ に努めています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30				1	玄関の入り口を除いては、段差はないように思 います。 色々興味を示してしまう子にとっては、物の 置いてある場所であったり、部屋は、都度施設 してあるといいな、と思います。 興味がそちらに向いた時に、見たい！を我慢で きず、開けてしまう場面があり、申し訳なく思 います。	バリアフリー化の構造となっており、ご利用児 が分かりやすく、活動しやすい環境となるよう 工夫をしています。 来年度は、個別支援室で個々の支援を重視する 環境に変更予定です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	31					施設は漂白剤の匂いがする時もあり安心しま す。けどトイレは子供の便器の中が汚れてい るのが気になるので、綺麗にしてほしいと思 う。	館内の清掃は、業者の業務委託で行っていま す。特にトイレについては、日々の巡回を増や し徹底して参ります。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	27	3		1	その日に行う事(運動時・机上課題時)を初めに 話して下さるのですが、専門用語での説明が ほぼで、その専門用語は、保護者に向けて話し ているのかもしれませんが、利用しているの は、あくまで“子”である事を思うと専門的な言 葉を子供にも分かりやすい言葉に置き換えて話 してもらえるといいな、と思います。 専門性の知識があるスタッフが支援してくれて いるかは不明。	個別支援計画の作成から医学的な根拠を意識し た専門用語を敢えて記載しています。ただし、 保護者やご利用児への説明や支援のときには、 かみ砕いて分かりやすい表現に変えるように統 一しています。 職員間で更に徹底して参ります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1		1		日々、振り返りをして個々の改善を評価してい ます。プログラムを変更する場合は、HGUなど でお伝えするようにいたします。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支 援計画（個別支援計画）が作成されていると思いま すか。	30	1				お忙しい中で、書面と親との面接から、子の課 題を汲んで、個別支援計画を作成してくださっ ていて、とても有り難いです。 契約時やモニタリング時等でニーズや課題をお 聞きし、児童発達支援計画に反映させるように 努めています。 課題の効果を適宜明確にご説明できるように、 支援体制を整えます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	29	1		1	・利用を始めて4か月ですが、運動時は子の身体 の使い方をみてくださっていたり、机上課題時 は、手指の動きや興味関心等を活動を通してみ てくださっていると思います。 ・子の気分やペースに合わせて、課題を変更し てくださったり、無理のない範囲で(頑張れる時 を探ってください)活動できており、有り難 いです。	ガイドラインに沿った児童発達支援計画書の支 援内容にしています。 ガイドラインと別の視点での専門性も取り入れ ています。	
9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	30	1				担当する職員は、児童発達支援計画の達成目標 を熟知し、日々のサービスを提供しています。		

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動課題は同じことが多いので、違うこともしたいなと思う。</li> <li>・利用時のはじめに、ボードで、今日の内容を確認するようにしているのですが、毎回違う内容を組み合わせさせてくださっている、と感じています。</li> </ul>	<p>ご利用児の年齢や能力に応じた個別支援に心がけて、できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。</p> <p>自立力に応じた課題を柔軟に提示できるように努めます。</p>	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	8	10	<p>0歳児クラスからこども園に通っています。</p> <p>1歳児クラスで転園しましたが、4歳児クラスの現在、同園にお世話になっており、同年齢だけではなく異年齢のお子さんとも関わる機会があります。</p>	<p>サービス担当者会議等で保育所や幼稚園に伺って状況共有をさせていただいています。</p> <p>個人差はありますが、障害のない子どもとの交流については、現ご利用児の現況等で判断すると、必要性を感じていません。社会性の前に自立力向上の課題が優先すると考えています。</p>
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30			1		<p>とても丁寧に説明してくださいました。</p> <p>見学時や利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っています。</p>
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					<p>利用開始や更新時に、丁寧に説明を行っています。</p>
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	1	12		<p>親子療育では、その都度家庭でも可能なことをお伝えするなど、子育てしやすい環境づくりのお手伝いをしています。</p>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	3	1		<p>利用時は、支援を行う中で、子の様子をみながら親と話すというのは、なかなか難しいかな...とみえます。</p> <p>また、その日に、親が話した家での事等は、どれくらいスタッフの皆さんで共有されているのかな?と疑問に感じる時があります。</p>	<p>保護者とは、同行時にお話をさせていただいたり、HUGマイページ、電話、メール等で利用時の状況や課題について随時連絡を取り合っています。</p> <p>職員間では日々の振り返りを行い、保護者からのご意見などを共有しながら支援の質の改善に努めています。</p>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	4		2		<p>モニタリングや日々の支援時の保護者からのお悩みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。</p>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1			<p>指導員の方達からは、とても寄り添ってもらっていると感じます。</p> <p>よく見ていて小さい事でも褒めてくださる方、支援で精一杯の方...と先生方も様々な、と感じています。</p>	<p>一方的な指示にならないよう、共感的な支援を心がけています。</p> <p>職員間での研修や町村発達支援コンサルタントが主催する専門研修の受講等で計画的なスキルアップに努めています。</p>
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	9	14	<p>まだ利用期間が短い為、分かりません。</p>	<p>つばめ療育館では、0歳からの早期療育の普遍化を目指していますが、ほど遠い現実となっています。</p> <p>支援期間が短年の中で、保護者会等の結成は非現実的と考えています。</p>
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		6	<p>このようにしてほしい、と伝えた事は、翌利用日にはできていたり、流石だな、と感じています。</p>	<p>保護者からの相談や申し入れに対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。</p> <p>モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。</p>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1				<p>保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。</p> <p>ご利用児には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。</p>
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26			5		<p>隔月の会報「おたより」や保護者のHUGマイページを活用し、近々の情報をお伝えしています。</p>	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1				<p>個人情報取扱規程に基づき、施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。</p>	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	2	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル等はあると思いますが、すべてのマニュアルを周知・説明されていないと思う。</li> <li>・避難訓練に参加させていただきましたが、子の様子を共有できて、いい経験をさせていただきました。</li> </ul>	<p>マニュアルは作成していますが、保護者に対しては、マニュアルを特に周知はしていません。</p> <p>所内に要点的な掲示やマニュアルを閲覧できるようにしています。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12		2	17		<p>年2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。</p>
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1		3		<p>職員にはインシデント報告を徹底し、事故防止に努めています。</p>

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			12	事故等が発生したことはないので、わかりませんが、説明してくれると感じます。 事故や怪我等をまだしていない為、わかりません。	事故等（怪我等を含む。）が発生した際には、保護者へ速やかに連絡を取り、状況説明等を行っています。 事故防止マニュアルに基づき、必要な時には関係機関へ報告を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	3				運動課題や個別課題では、個々の自立力に合わせた課題を提示し、成功事例の積み重ねを原則に安心感を与えられるよう心がけています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	4		2		まずは、嫌がらないでご利用いただくことから考えています。ただし、発達支援プログラムには、自立力の向上を目的とする意味合いが込められているため、「楽しんで…」が目的ではないと捉えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	4				ほとんどのご家族から満足いただいていることは、有りがたい限りです。より満足いただくためには、ご利用児の「成功」の積み重ねが自立力向上に繋がると認識しています。 「生活しやすいからだ」は、すべての基盤であると考えています。ご家族と情報共有をしながら、ご利用児の育ちに寄り添い支援して参ります。 1時間の個別親子療育はご利用児の集中力が持続でき、同行される保護者の負担軽減にも配慮しています。本館、分館において様々なプログラムを実践して参りましたが、1時間の個別親子療育が最も改善効果が見込めると判断いたしました。